

単元名

「1000までの数」

挑戦問題 『大きな数のあんごうをとりて、たからばこをあけよう！』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 協力・協働

1 対象 第2学年1組 男子16名 女子7名 計23名

2 単元で目指す学ぶ姿

1000までの数のよみ方、かき方を理解し、10や100を単位とする数の相対的な見方に基づく加減計算や大小比較ができる姿

<単元で児童と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

現学習指導要領	資質・能力	評価	評価基準	
数量や図形についての知識・理解	知識・技能	S	1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたり、数の表し方や仕組みを説明したりすることができるとともに、生活場面の問題を解決する見通しをもつことができる。	
		A	1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたり、数の表し方や仕組みを説明したりすることができる。	
		B	1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたりすることができる。	
		C	1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたりすることができない。	
数量や図形についての技能	情報収集判断	S	ものの個数を実際に数えたり図に表したりするなどして、数の表し方についての見方や考え方を広げ深めることができる。	
		A	ものの個数を実際に数えたり図に表したりするなどして、数の表し方についての必要な情報を見つけ、選び出すことができる。	
		B	ものの個数を実際に数えたり図に表したりするなどして、数の表し方について関係ありそうなものを見付けることができる。	
		C	ものの個数を実際に数えたり図に表したりするなど、数の表し方について調べることができない。	
	思考力・判断力・表現力	思考表現	S	しっかり考えて学びを自分のものにし、工夫して、100までの数と同じように、1000までの数の大きさを10、100などを単位としてそのいくつ分と見たり、大きな数の加減を10、100を単位として計算したりすることができる。
			A	しっかり考えて学びを自分のものにし、100までの数と同じように、1000までの数の大きさを10、100などを単位としてそのいくつ分と見たり、大きな数の加減を10、100を単位として計算したりすることができる。
			B	しっかり考えて1000までの数の大きさを10、100などを単位としてそのいくつ分と見たり、大きな数の加減を10、100を単位として計算したりすることができる。
			C	1000までの数の大きさを10、100などを単位としてそのいくつ分と見たり、大きな数の加減を10、100を単位として計算したりすることができない。

算数への関心・意欲・態度	学びに向かう力・人間性	挑戦探究	S	身の回りの1000までの数を工夫して数えたり計算したりするために、新しい自分や考えを創り出すことができる。
			A	身の回りの1000までの数を工夫して数えたり計算したりするために、見通しをもって粘り強く学び続けることができる。
			B	身の回りの1000までの数を工夫して数えたり計算したりするために、学び続けようと努力することができる。
			C	できないことや分からないことをあきらめている。
		協力協働	S	1000までの数を使って、生活場面の問題を粘り強く協力して解決することができる。
			A	1000までの数を使って、生活場面の問題を解決しようと協力することができる。
			B	1000までの数を使って、生活場面の問題を解決するために協力しようとするすることができる。
			C	1000までの数を使って、生活場面の問題を解決するために協力しようとしていない。

【評価方法】

授業中の教師観察およびワークシート，児童には，上記の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し，意欲を喚起させ，単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。

3 単元について

(1) 単元観

本単元は，小学校学習指導要領，第2学年2内容A「数と計算」(1)「数の意味や表し方について理解し，数を用いる能力を伸ばす。」(2)「加法及び減法についての理解を深め，それらを用いる能力を伸ばす。」に示された指導事項のうち，1000までの数のよみ方やかき方，数の大小，順序，系列，構成，10や100を単位とする数の相対的な大きさについての理解，それに基づいた加減計算の仕方の指導のために設定されたものである。児童は本単元の学習までに，第1学年で120程度の数までは学習している。第2学年の学習では，第1学年の学習をもとに，4位数までの数ならびに10000について，十進位取り記数法の原理の確実な理解を図るとともに，数の相対的な見方，また，加減計算の仕方についての理解を図る。その中で本単元では1000までの数を扱う。

(2) 児童観

100までの数についての定着状況は，事前テストにおいて，得点率80%の児童は23人中，16人であった。数直線の読み取りに課題のある児童が多い。算数への関心・意欲について，事前アンケートでは，23人中16人が「算数が好き」と答えた。

(3) 指導観

指導にあたっては，次の5つのポイントで授業改善をすすめる。

- ① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。

挑戦問題	志を抱く	準備をする	挑戦する	もっと大きな数を使えるようになりたい 新たな志を抱く
	1000までの数を理解し，使えるようになりたい。	①100をこえる数の数え方や表し方 ②10を集めた数 ③1000という数 ④数直線の読み方や数の並び方 ⑤大きな数の大きさの比べ方 ⑥10や100をもとにしたたし算とひき算	大きな数のひみつを使って挑戦問題を解く。 1000までの数を使った生活場面の問題が解けるよ	

② 振り返り時間（５分）の充実

振り返りの観点を示し、学習内容や学習への取り組み方など、具体的に振り返ることができるようにさせたい。

③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

各時間に学んだことを「大きな数のひみつ」とし、見通しをもって取り組ませる。また、学習したことを使えるように、身の回りのものの個数や生活場面などを意識させる工夫をしたい。

④ ワークシート・ノート指導の工夫

学習のめあてや内容、まとめなど、分かりやすくかき、児童が自分で振り返ることができるようにしたい。

⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

4 単元の目標

- ・ 1000までの数のよみ方、かき方を理解する。
- ・ 10や100を単位とする数の相対的な見方に基づく加減計算ができる。

5 単元の評価規準と適用する資質・能力

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
身の回りの1000までの数を工夫して数えたり計算したりしようとしている。 <挑戦・探究> 1000までの数を使って、生活場面の問題を協力して解決しようとしている。 <協力・協働>	1000までの数と同じように、1000までの数の大きさを10,100などを単位としてそのいくつ分とみたり、大きな数の加減を10,100を単位にして計算したりしている。 <思考・表現> ものの個数を実際に数えたり図に表したりするなどして、数の表し方についての必要な情報を見付け、選び出すことができる。 <情報収集・判断>	十進位取り記数法の仕組みをもとにして、1000までの数を表したりよんだりしている。 1000までの数の大小を比べている。 <知識・技能>	1000までの数の表し方や仕組みを説明している。 <知識・技能>

6 指導と評価の計画（全11時間）

時	学習活動	評価（○は主に「指導に生かすための評価」、●は主に「記録するための評価」）					
		関	思	技	知	○評価規準 (評価方法)	★適用する 資質・能力
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 課題の設定 </div> ○星は何個あるか工夫して数えよう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 挑戦問題 「大きな数のあんごうをといて、たからばこをあけよう！」 </div>	◎				【関心・意欲・態度】 ●大きな数を数えることに関心をもって取り組もうとしている。(観察・ワークシート)	★【挑戦・探究】 (資質・能力ルーブリック)

1	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 星の数を工夫して数える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 10のまとまりや100のまとまりを考える。 <p>まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 100をこえる数の表し方や仕組みを調べ、使えるようにならないと問題を解けないという課題をもつ。 			○	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10や100のまとまりにして数えることができる。 100をこえる数のよみ方が分かる。(発表・ワークシート) 	
2	<p>課題の設定</p> <p>(めあて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 三百六十五の数字のかき方を考えよう。 <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 「百の位」を知る。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 3位数の表し方や構成の説明をする。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ1</p> <ul style="list-style-type: none"> 三百六十五は365とかく。 大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 			○ ◎	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3位数の表し方や仕組みを説明することができる。(発表) <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3位数について、数字で表したり、構成を説明したりできる。(発表・ノート) 	★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)
3	<p>課題の設定</p> <p>(めあて)</p> <ul style="list-style-type: none"> 二百八の表し方を考えよう。 <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 3位数の表し方を振り返る。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 空位のある場合の表し方を知る。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ2</p> <ul style="list-style-type: none"> 十のたばがないときは、十のくらいに0をかく。 大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 			◎ ○	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空位のある3位数の表し方や仕組みを説明することができる。(発表) <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空位のある3位数を数字で表したり、構成したりできる。(発表・ノート) 	★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)

4	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○10が何個あるかをもとに数を考えよう。</p> <p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10円玉が何枚になるか調べる。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流し、10を単位にした数の構成についてまとめる。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ3</p> <p>○10を24個集めた数は240になる。360は10を36個集めた数。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 					<p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大きな数を10を単位としてそのいくつかとみることができる。(発表) <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10を単位にして、数の大きさを表すことができる。(発表・ノート) 	<p>★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)</p>
5	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○星の数を工夫して数えよう。</p> <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100のまとまりを作って、星の数を数える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1000」という数を知る。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ4</p> <p>○10や100のまとまりにして数えると、1000までの数を数えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 					<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○100のまとまりを数えることに関心をもって取り組もうとしている。(観察・ワークシート) <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1000の数の仕組みを理解している。(発表・ワークシート) 	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)</p>

6	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○数の直線についてしらべよう。</p> <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線の目盛りについて調べる。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線の目盛りの大きさを確かめる。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ5</p> <p>○数の直線は、ならび方を見て、1目もりの大きさや、数がいくつずつふえているかをしらべる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 			○ ◎	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1000までの数の順序, 系列を理解している。(発表・ワークシート) <p>【技能】</p> <p>○数直線上に1000までの数を表すことができる。(ワークシート)</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)</p>
7	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○数の大きさのくらべ方を考えよう。</p> <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位の数を見て、数の大小を比べる。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 ・不等号を使って数の大小関係を式に表すことを知る。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ6</p> <p>○百のくらいの数字からじゅんにくらべる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 			○ ◎	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3位数の大小比較の仕方を説明することができる。 <p>【技能】</p> <p>○3位数の大小比較の仕方を理解し、比較することができる。(発表・ノート)</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)</p>

8	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○ $80 + 30$ の計算のしかたを考えよう。</p> <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お金の模型を使って、計算の仕方を考える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の仕方を発表し、まとめる。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ7</p> <p>○ 10 をもとにして考えると、計算できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 	○	◎	○	<p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大きな数の加減を 10 を単位にして計算することができる。(発表・ノート) <p>【技能】</p> <p>○ 10 を単位とする簡単な計算ができる。(発表・ノート)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○ 生活場面の問題を協力して解決しようとしている。</p>	<p>★ 【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)</p> <p>★ 【協力・協働】 (資質・能力ルーブリック)</p>
9	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○ $200 + 400$ の計算のしかたを考えよう。</p> <p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習を振り返り、計算の仕方を考える。 <p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の仕方を発表し、まとめる。 <p>まとめ・創造・表現</p> <p>(まとめ) 大きな数のひみつ8</p> <p>○ 100 をもとにして考えると、計算できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな数のひみつをまとめ、次時への意欲をもつ。 		◎	○	<p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大きな数の加減を 100 を単位にして計算することができる。(発表・ノート) <p>【技能】</p> <p>○ 100 を単位とする簡単な計算ができる。(発表・ノート)</p>	<p>★ 【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)</p>

<p>10 (本時)</p>	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○見つけたひみつを使って、問題の解き方を説明できるようになる。 ・ぼっちり問題を解き、学習の確かめをする。 ・挑戦問題を解く。 ・グループで協力し、どうやって説明したらよいか、説明の仕方を相談し合う。 ・全体で交流する。</p> <p>まとめ・創造・表現</p> <p>・挑戦問題の答えを確かめる。 ・ワークシートのループリックをみて、本時で身に付けた資質・能力を自己評価する。</p>	○			<p>◎</p> <p>【知識・理解】 ●1000までの数の表し方や仕組みを説明している。(発表・ワークシート)</p> <p>【関心・意欲・態度】 ○1000までの数を工夫して数えたり計算したりしようとしている。(ワークシート・観察)</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ループリック)</p>
<p>11</p>	<p>課題の設定</p> <p>(めあて) ○大きな数を使えるようになる。</p> <p>情報収集</p> <p>・前時までの学習を想起し、評価問題を解く。</p> <p>まとめ・創造・表現</p> <p>・単元の振り返りをし、もっと大きな数を使えるようになりたいという意欲を持つ。</p>	○	○	○	<p>【関心・意欲・態度】 ○身の回りの1000までの数を工夫して数えたり計算したりしようとしている(評価テスト)</p> <p>【知識・理解】 ●1000までの数の表し方や仕組みを説明している。(評価テスト)</p> <p>【数学的な考え方】 ○大きな数の加減を10, 100を単位にして計算したりしている。(評価テスト)</p> <p>【技能】 ○1000までの数を表したりよんだりしている。(評価テスト)</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ループリック)</p>

6 本時の学習（10時間目／全11時間）

(1) 本時の目標

- ・既習事項を活用し、1000までの数を表したり、よんだり、仕組みを説明したり、数の大小を比べたりすることができる。
- ・1000までの数を工夫して数えたり計算したりしようことができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆） 発問（○） 予想される児童の反応 [- - -]	評価規準 評価の観点（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>挑戦問題 大きな数のあんごうをといて、たからばこをあけよう！</p> </div> <p>○（大きな数の）見つけた「ひみつ」を使って、ぱっちり問題を解きましょう。 ・見つけた「ひみつ」を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題の設定</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「見つけたひみつをつかって、もんだいのとき方をせつめいできるよになるろう。」</p> </div>	<p>・これまでに学習したことを使って問題を解くことを意識させる。</p> <p>・見つけた「ひみつ」を掲示しておき、確認させる。</p>	
<p>2 問題を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>情報の収集</p> </div> <p>・既習を生かし、ぱっちり問題を解く。</p> <p>・挑戦問題を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>挑戦問題 1, 2, 3の数字カードを1まいずつ使って、3けたの数をつくります。大きい方から3ばん目の数はいくつでしょうか。</p> </div>	<p>◆既習事項を掲示しておき、必要に応じて想起させる。</p> <p>・挑戦問題の解決を促し、意欲付けをする。</p>	<p>◎○知識・理解 ★知識・技能 S 1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたり、数の表し方や仕組みを説明したりすることができるとともに、3位数の大小を説明できる。 A 1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたり、数の表し方や仕組みを説明したりすることができる。 B 1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたりすることができる。 C 1000までの数を表したり、よんだり、数の大小を比べたりすることができない。 (資質・能力ルーブリック・発表・ワークシート)</p>
<p>整理・分析</p> <p>・全体で考えを交流し、答えを確かめる。 ・グループで協力し、どうやって説明したらよいか、説明の仕方を相談し合う。 ・全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ</p> </div> <p>3 学習のまとめをする。 ・挑戦問題の解き方をまとめる。</p> <p>・挑戦問題を解決し、たからの箱を開ける。</p> <p>4 本時を振り返る。 ・ワークシートのルーブリックをみて、本時の学習を振り返り、自己評価する。 ・振り返りを書く。</p>	<p>○3枚のカードで、どんな3けたの数を作れますか。 ○どんな「ひみつ」を使ったら説明ができますか。 ・グループ活動の目標を資質・能力のルーブリックで共有する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・数の大きさは、百のくらいの数字からじゅんにくらべるから、百の位に大きな数字を使えば大きくなる。 ・十の位や一の位の数も大きい順に比べると、数の大きさが比べられる。 など</p> </div> <p>・数の大きさは、上の位の数字から順に比べて考えるとよいことをおさえる。 ・挑戦問題の答えを確かめるとともに、児童の学習への取り組みを評価し、継続的に学習する意欲へとつなげる。</p> <p>・振り返りの観点を提示し、分かったことや友達のよい考えなどをノートに書かせる。</p>	<p>○関心・意欲・態度 1000までの数を工夫して数えたり計算したりしようとしている。 (ワークシート・観察)</p>

• MEMO •

